

【月案】12月・3歳児

今月の保育のポイント

- 感染症の流行りやすい季節なので、朝夕の健康状態をチェックする。子どもからの「疲れた」は要注意。やたらとあくびをしていないかなど、普段と違う様子はないか見ておく。
- 保育者との信頼関係を基に、子どもが思いを言葉で表現できるように、時には思いを代弁しながら、生活を共にする。
- 11月にお遊戯会などがあった園も多いと思うが、その後も遊びの中に取り入れていく。
- はさみやのりを使う環境を分かりやすくカテゴリー別に分けておくなどし、自由遊びで使えるように整えておくことクリスマスなどの制作をするときに入りやすい。

月のねらい

- 身の回りのことを進んで行う。
- 戸外で保育者や友達と一緒に体を動かして遊ぶ。
- 冬の自然を五感で関わり、興味をもつ。
- 冬の空気、クリスマス会などの行事を通し、季節を感じながら過ごす。
- 冬季の健康や安全に気を付け、快適に生活する。
- 自分の気持ちや考えを安心して表現する。
- 自分でできることを行い、生活習慣を身に付ける。
- 様々な素材を使って制作を楽しみ、飾ったり遊んだりして満足感を味わう。

週のねらい

その1

- 1週目：年末やクリスマスに向け、園の環境から季節感を感じながら過ごす（養護）
- 2週目：冬の自然素材を集め遊びに活かすことで、冬の自然を十分に味わう（教育）
- 3週目：冷え込みが厳しくなる週なので、健康に十分注意しながら過ごす（養護）
- 4週目：クリスマス会を親しみをもって楽しみ、年末を健康で迎える（教育）

その2

- 1週目：クリスマスの飾りを考えて作ったり、飾ったりして工夫することを楽しむ（教育）
- 2週目：簡単なルールを守ったごっこ遊びや、友達との集団の遊びを楽しむ（教育）
- 3週目：クリスマス会や年末行事に触れて、関心を持つ（教育）
- 4週目：冬の自然を見たり触れたりして興味をもつ。（教育）

その3

- 1週目：冬の寒さを感じながらも、身体を動かして元気に遊ぶ。（養護）
- 2週目：遊びの中で簡単なルールを理解し、友だちと一緒に楽しむ。（教育）
- 3週目：冬の自然やクリスマス会を通じて、季節の変化に興味を持ち、行事を楽しむ。（教育）
- 4週目：友だちとのやり取りや遊びを通して、自分の気持ちが伝わる喜びを感じる。（教育）

その4

- 1週目：体調に気を配り、寒さに負けずに快適に過ごす。（養護）
- 2週目：自分でできることを増やし、生活に必要なことを身に付ける。（養護）
- 3週目：クリスマスに向けた制作に取り組み、季節の行事への期待感を持つ。（教育）
- 4週目：保育者や友だちとともに冬の自然や行事に触れ、五感を通じて季節を感じることを楽しむ。（教育）

前月末の子どもの姿

養護（生活）

- 上着の着脱や片付けなどができる子どもが増え、できない子どもも自分でやろうとする姿がある。
- 手洗いうがいを保育者の見守りの中、自立してできる。
- 楽しく会話しながら食事を取っている。
- 子ども同士でのトラブルでは、保育者に自分の思いを伝え、仲立ちがあれば落ち着いて話を進められる。
- トラブルが増えているが、自分の気持ちを抑えられたり、我慢したりできるようになった子どももいる。
- 人前で表現する楽しさや喜びを知り、誕生会や季節の行事に期待を持って楽しみにしている。
- 当番活動では、自分の順番が来ることを楽しみにし、喜んで取り組んでいる。
- 自分の気持ちを相手に伝えられず、「いや」「だめ」等の強い口調になってトラブルになる姿がある。

教育（遊び）

- 木の実や落ち葉を集め、ままごとや制作などの遊びに使って楽しんでいる。
- しっぽとりなど、簡単なルールのある遊びを保育者、友達と楽しんでいる。
- 制作物を友達同士で見せ合い、違いを見つけたり、喜びあっている姿が見られる。
- 経験したことや感じたことを、書いたり作ったりして表現することを楽しんでいる。
- お遊戯会の過程の中で、表現する楽しさや見てもらう喜びを感じ、遊びに取り入れて楽しんでいる。
- 気の合う友だちと共通のイメージを持ってごっこ遊びを楽しむことで、仲間意識が出てきた。

活動内容（五領域対応）／環境構成と援助

養護（生活）

- **活**：チャック、ボタンのある衣服の着脱と片付けを自分でしようとする。（健康）
環：自分でしようとする姿を認め、褒め、共感し、自信につながるように援助する。チャックができない子どもには手を添えながら手伝う。
- **活**：手洗いうがいの必要性を理解し、進んで行う。（健康）
環：理解しやすいようペーパーサートや紙芝居を通し、手洗いうがいをすることで感染症予防になることを繰り返し伝え、感染症予防に努める。
- **活**：冬の生活の仕方を知り、自ら取り組む。（健康）
環：防寒着の着脱場所や長袖の収納場所など、子どもが自立して行えるように十分なスペースのある場所を確保し、分かりやすく動線上に設置する。脱ぎ着は必要によって保育者も手伝う。

- **活**：道路を歩くときのマナーやルールを理解し、守ろうとする。（人間関係・環境）
環：散歩の前に保育者だけでなく、子ども達にどんなことに気を付ければよいか聞き、自ら考える機会をつくる。
- **活**：身の回りをきれいにする心地よさを知り、物を大切に扱おうとする。（健康・環境）
環：大掃除などの活動を通し、汚れた場所が綺麗になる変化や、子どもが使った汚れた雑巾、汚水を見せながら物を大切に使う心地よさの話をするなどし、子どもの意識を向けていく。
- **活**：冬季に応じた生活を、健康で安全、快適に過ごす。（健康）
環：外気温との差に気を付け、暖房する。適度な換気を行いながら、快適な環境で過ごせるように配慮する。
- **活**：体の異常に気付き、自分から訴えることができる。（健康）
環：一人ひとりの普段の様子をよく観察し、体の異常による機嫌の悪さ、情緒の不安定さに対応していく。
- **活**：年末年始の過ごし方や挨拶の仕方を知る。（環境）
環：園内にお正月らしい飾りをし、子どもが興味を持てるようにする。
- **活**：自分たちが使った場所やいつも遊んでいる場所の大掃除をする。（環境）
環：大掃除の意味を伝え、生活の場や遊具を大切にすることを伝えて取り組めるようにする。
- **活**：自分の荷物を持ち帰ったりして、身の回りの整理整頓をする。（環境）
環：年末年始休みの生活について伝え、規則正しい生活や交通安全等について話をする。
- **活**：鼻をかんだり、手洗い、うがい、衣服の調節等、健康を意識して生活する。（健康）
環：取り出しやすい位置にティッシュペーパーを置いたり、感染症に関連付けて手洗いやうがいの大切さを再度伝えていく。
- **活**：当番活動に意欲を持ち、進んで保育者の手伝いをしようとする。（環境）
環：当番活動が楽しみになるような声掛けをしながら、意欲を持って取り組めるようにしていく。積極的に取り組む姿を認め、自信につながるようにしていく。

教育（遊び）

- **活**：空気の冷たさに気づき、落ち葉の積み重なりや枝のみの木を見るなど、冬を感じる。（環境）
環：「今日は息が白いね」など、冬の気づきを保育者が寄り添い、共感する。集めた木の実や葉、自然物を使って、リースやツリーの飾りつけをし、冬の雰囲気味わえるようにする。
- **活**：冬の寒さに負けず、元気に戸外で身体を動かして遊ぶ。（健康）
環：体を思い切って動かすことで、身体が温まることを実感できるように、鬼ごっこなどの遊びを保育者が先導して行い、楽しく冬の寒さを過ごす。体調や天候を考慮しながら戸外に誘う。
- **活**：冬ならではの色々な素材に触れながら遊びを楽しむ。（環境・表現）
環：積み重なった落ち葉に埋もれたり、飛び込んだり、感触を楽しめるようにしていく。
- **活**：はさみ、のりなどの道具を使い、道具の使い方を知る。（環境）
環：のりを置く場所はさみをかけておく場所を作っておき、整理された環境で深く遊び込めるように配慮する。はさみやのりの使い方がぎこちない子にはさりげなく手を添えながら進める。
- **活**：クリスマス会に向け、歌や踊りを楽しむ。（環境・表現）
環：クリスマス会で、簡単な合奏や歌などをみんなと一緒に楽しみ、年長児や年中児の表現遊びや発表を見ることで、楽しく参加できるようにする。
- **活**：簡単なルールのある遊びを体験し、友達とルールを通して遊ぶ楽しさを味わう。（人間関係）
環：ルールが視覚化して理解しやすいよう、パネルシアターのように絵や人が動いている様子を見せながら説明する。
- **活**：友達や保育者の援助を受けながら、他人の思いに気づき関わる。（人間関係）
環：子どもの言葉の裏にある本当の気持ちや思いを推測しながら関わり、他者の気持ちを考えられる土台になるよう温かく関わる。

- **活**：嬉しい気持ちや要求、経験を言葉や仕草で伝えようとする。（言葉・表現・人間関係）
環：普段の会話やトラブル時から子どもの話をしっかり聞き取り、子どもが保育士や友達に自分の意見を言えるような環境、雰囲気を作っていく。
- **活**：様々な楽器に触れて音の響きを楽しみ、楽器の使い方を知る。（表現）
環：保育士と同じ楽器を用意し、持ち方や約束事、奏で方を知らせて進めていく。使い方が分かるようになってきたら、コーナーごとに楽器を用意し、子どもが選べるようにしていく。
- **活**：自然物を収集したり、変化を感じて冬の自然を楽しむ。（環境）
環：子どもが自然を収集できるように入れ物を用意しておく。「もう葉っぱは散ったね」など、冬が感じられる言葉をかけていく。
- **活**：みんなで1つのルールを共有して遊びを楽しむ。（人間関係）
環：集団遊びの中で待つ時間や、我慢する時間など、遊びの中で重ねていけるように機会を重ねる。
- **活**：寒い中でも、戸外に出たり様々な用具を使ったりして、健康的に身体を動かして遊ぶ。（健康）
環：全身を使って遊べるよう、平均台や巧技台、マット等を用意し、のびのびと体を動かせる環境を整える。
- **活**：異年齢児と関わり、思いやりの気持ちや憧れの気持ちを持つ。（人間関係・表現）
環：年上の友だちに優しくしてもらった経験に喜びを感じたり、年下の友だちと触れ合う機会を持つことで、お兄さんお姉さんの意識で優しく接することができるようにする。
- **活**：季節の行事に興味を持ち、期待感を持って楽しんで参加する。（環境・表現）
環：クリスマスやお正月等の飾りつけを一緒に行い、子どもたちと楽しみな気持ちを共有する。
- **活**：友だちの思いを聞き、自分たちでトラブルを解決しようとする。（人間関係・言葉）
環：遊びにはルールがあり、守って遊ぶことで楽しくなることを知らせる。トラブルはできるだけ子ども同士で解決できるように援助していく。
- **活**：お話や絵本、紙芝居等に親しみ、言葉のやり取りを友だちと楽しむ。（人間関係・言葉）
環：登場人物になりきってセリフを友だちと楽しんだり、ごっこ遊びへと発展させながら繰り返し楽しめるよう、言葉の面白さや楽しさを伝えていく。
- **活**：落ち葉や枯れ木、空気の冷たさを感じながら、冬の自然の変化を観察する。（環境）
環：子どもが落ち葉や木の実を自由に集められる場所や散歩道を整え、季節の変化を感じ取れるようにする。「寒い風が吹いているね」等、冬の自然の気づきを感じられるような声掛けをしていく。
- **活**：枯れ葉や木の実、松ぼっくりなどの自然素材を使って、リースやクリスマスの飾り等、冬らしい作品を制作し、飾って楽しむ。（表現）
環：木の実や落ち葉を集めておける場所を設置し、自由に素材を選んで制作できる環境を整える。「どれを使おうか？」と声を掛けながら、自然の素材に親しみを持って楽しめるように援助する。
- **活**：歌や踊り、楽器を使ってクリスマス会に向けた準備を楽しみ、友だちと一緒に表現する喜びを味わう。（表現・人間関係）
環：歌や踊り、簡単な楽器遊びを通じて、クリスマス会の準備を楽しく進められるようにしていく。楽器の使い方を丁寧に知らせ、自由に音を出して楽しめるように楽器コーナーを設ける。
- **活**：しっぽとりやボール遊び等の簡単なルールのある遊びを通して、順番を守りながら遊ぶことの楽しさを味わう。（人間関係）
環：遊びのルールを分かりやすく説明し、順番を守ることや協力することの大切さを伝える。

健康、安全面で配慮すべき事項

- 個々の体調に気を配り、インフルエンザ、風邪の早期発見に努める。

- 必要に応じて暖房器具や加湿器を使用し、温度や湿度の調節をする。内外の温度差が著しくないように配慮する。
- 汗をかいていれば上着を脱ぐなど、衣服による体温調節を援助する。
- インフルエンザ、ノロウイルスなどの感染症が出た場合の対処法を確認しておく。
- 手洗いやうがいの大切さを伝え、風邪予防に努める。
- 嘔吐や下痢の対処について、職員間で共通理解を図る。
- 咳エチケットや鼻のかみかたについて知らせる。
- 積極的に十分体を動かせる環境を用意する。

今月の製作・歌・絵本・手遊び・室内室外遊び

製作

- さんかくツリー／クリスマスつるし飾り／紙皿サンタ・トナカイさん

歌

- おほしがひかる／ちいさいひつじが／ゆめのなか

絵本

- ぐりとぐらのおきやくさま／よるくまクリスマスのまへのよる／しょうぼうじどうしゃじぶた

手遊び

- 大きくなったら何になる／おにのパンツ／せんせいとおともだち

室内室外遊び

- 「新聞紙の足場」レース／もうじゅうがり／まつぼっくりパチンコ

行事

- 世界人権デー（12/10）
- 正月事始め（12/13）
- 冬至（12/22頃）
- クリスマス（12/25）
- 大晦日（12/31）

食育

- クリスマスの雰囲気を感じながら、ゆったりと会食ができるようにする。
- 餅を保育者とつき、一緒に丸め食べることで、もちの作られ方や味、触感を楽しく学ぶ。
- 嫌いな食べ物でも興味もてるように、保育者は自ら美味しそうに食べて見せるなどし、特に食わず嫌いを減らしていく。

- 正しい箸の持ち方を伝えるとともに、無理強いすることなく、一人ひとりの状況に合わせて進める。
- 餅つきでは、餅米から餅になる様子を実際に見ながら、食材の変化に気づけるような言葉を掛ける。
- 異年齢児との交流を深めながら、楽しい雰囲気では会食をする。

地域と家庭との連携

- 掲示板や園だよりなどで行事予定について知らせる。また、準備物等も知らせ、協力してもらえよう願う。
- インフルエンザなど流行性の感染症に注意するよう呼びかけ、予防策や感染情報などを都度知らせていく。新しい持ち物への記名、サイズ確認など改めて願う。
- 自分で着脱しやすい防寒具やコートを準備してもらう。
- 様々な遊びや異年齢との活動を通しての姿を伝え、成長を喜び合う。

自己評価

- 自ら上着の管理、うがい・手洗いをすることが習慣づいていったか。
- 寒い日でも戸外で友達と楽しく遊んでいたか。
- 自分の思いを言いすぎる子どもや逆に言えない子どもなどに合わせ、適切な援助ができていたか。
- 制作に対して期待感がもてていたか。
- クリスマスや年末の雰囲気、冬の季節を十分に感じられる活動であったか。
- 健康面では子どもの小さな異変や様子に気づくことができたか。職員間で連携できたか。
- 気温に応じた環境を設定し、子どもの体調管理に気を配ることができたか。
- 異年齢児と積極的に関わる機会を設けることができたか。
- この時期ならではの行事に期待感を持てるような声掛けや活動ができたか。
- 集団に入るのが苦手な子どもへの対応を職員間で連携を取りながら適切に行ったか。
- 子どもの体調の変化を職員間で伝え合い、感染症への対策を行うことができたか。
- 子ども同士のぶつかり合いやトラブルには、必要に応じた援助をし、子どもたちで解決できるような手立てを行えたか。
- 集団遊びでは、友だちと遊ぶ楽しさを十分味わえるような関わりができたか。